



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

楽しもうロータリー



地域を育み、大陸をつなぐ

2010-2011年度
R.I.会長よりのメッセージ

第954回例会 2010年11月24日 No.926号

■ 会長時間



会長 小川 嘉彦

みなさんこんにちは、お客様にはようこそお越しくださいました、ごゆっくりお過ごしください。
昨日の11月23日は「勤労感謝の日」で意味は祝日法によれば、「勤労をたつとび、生産を祝い、国民たがいに感謝しあう」となっています。勤労をたつとぶのは、何もこの日に限る事もないと思いますが、戦前この日は「新嘗祭」という祭日で、「天皇が新穀を天神地祇に勧めて神を祀り、身ずからも食す」という意味になります。皇室においては重要な宮中行事として23日の夕方に始まり翌日の未明まで儀式が行われています。みなさんも祝日の意味を考えてみられては如何でしょうか。

今回の例会(12月1日)

年次総会 『次年度理事・役員選挙』

次回の例会(12月8日)

会員卓話 賀谷 俊幸 会員

出席報告

(森中例会運営委員長)

11月24日(水)出席者

会員総数	40名
出席会員	31名
欠席会員	9名
ご来賓	0名
ご来客	5名
ゲスト	0名

来客者紹介

(伊藤親睦家族委員)

11月24日(水)出席者

広島南RC	1名
広島北RC	1名
広島西RC	1名
広島中央RC	1名
広島城南RC	1名

幹事報告(石川幹事)

■お知らせ

- 次週12月1日の例会は、年次総会(次年度理事・役員選挙)ですので、必ずご出席下さいようお願い致します。



::::SMILE BOX

奉仕プロジェクト常任委員会(職業奉仕委員会)より
10/13の職場訪問例会の余剰金をニコニコへ

小川嘉彦 会員

本通情報手帳「ウー」秋号に「今回の本通人」で私が載って
ます。本通で見たら手にとって見て下さい。

竹末園治 会員

11/14にマンション大規模修繕のセミナーを開催しました。今後はボランティア活動の一環として頑張ります。

下田敬三 会員

11月20日(土)中国新聞夕刊「でるた」にスケッチの旅とした「コラム」が掲載されました。夕刊をみたよと友人からTELがあり昔話をしました。

川中敬三 会員

先日の11/20(土)AM9:30～AM10:00広島テレビ(夢の通り道)に出演しました。収録に4日間かかりましたが、でたのはわずか30分、大変でした。

武田龍雄 会員

本日、珍しく所用の為、早退させていただきます。申し訳ございません。

当日計	57,376円	累計	354,376円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】小川 嘉彦 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】石川 貴与和 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

会員卓話

地方の建設業者の役割

大旗 健 会員



今年の4月から8月末まで、4ヶ月以上にわたり畜産県である宮崎県で家畜伝染病の「口蹄疫」が猛威を振るったことは皆さん記憶に新しいと思います。

国内で10年ぶりに感染が確認され終息を迎えるまでの4ヶ月間に10数万人規模の人々が口蹄疫の防疫対策に奔走しました。獣医師延べ約25,000人、機動隊延べ23,000人、自衛隊延べ18,000人・・・。

そうした中、一般には知られていない延べ「約12,000人」の建設業作業員の数があります。彼等は家畜の埋却処理や消毒作業、また4ヶ月間、24時間体制でその地域に出入りする車の消毒作業、また警備に当たりました。自分達の手持ちの業務はすべて中止してその防疫業務に当たりました。

もし、その地域の建設業者が居なかったら短時間に埋却は終わっていなかったらろう・・・。建設業者のきめ細かい消毒作業が無ければ他県に蔓延していただろう・・・と言われていました。

口蹄疫とその戦いの最前線に地域を守る担い手としての献身的な建設業者の姿がありました。しかしその活動がマスコミに取り上げられることは一切ありませんでした。

“コンクリートから人へ”“公共事業イコール悪”また、“公共事業はムダだ、不要”のスローガンの中、経済不況と相まって建設業、特に地方の建設業者は非常に厳しい社会状況の中にあり、廃業、倒産に追い込まれる状況にあります。

先日の広島県北のゲリラ豪雨も、これまでであれば半年か一年以内には災害復旧が出来たものも今では3年近くかかるとさえ言われています。それだけ地方の建設業者が経営的にも人材的にも非常に疲弊している現状があります。

これまで建設業が担ってきた地域社会の安全安心確保への組織的な取り組みが徐々に困難になってきており、地域の防災力が確実に弱まってきています。地域における建設業の役割とは何か、今まで地域基幹産業として雇用を支え、地域経済を支えまた農業基盤を支えてきた地域建設業をいま一度見つめ直して欲しいと思っています。